

平成30年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 えんがる商工会 経営発達支援事業評価委員会
 2. 開催日時 平成31年 2月25日(月) 15時00分
 3. 開催場所 コミュニティセンターホール
 4. 出席者 管野会長、秋田副会長、菊地課長、森支店長、
佐々木支所長、秋元青年部長、
樋口、宇野、倉岡 オブザーバー：稲井
- (1) 外部有識者 遠軽町商工観光課 課長 菊地 隆
遠軽信用金庫丸瀬布支店 支店長 森 範雄
商工会連合会オホーツク支所 支所長 佐々木 健雄
- (2) 商工会 会 長：管野 伸一
副 会 長：秋田 博
青 年 部 長：秋元 直樹
事 務 局 長：樋口 和幸
経 営 指 導 員：宇野 智紀
補 助 員：倉岡 泰之

5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画のイメージと事業評価について

事務局は、平成30年3月16日に認定を受けた経営発達支援計画及び関連法案の概要説明を行った。

(2) 平成30年度事業報告について

事務局は今後5年間、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行うために、本委員会により事業全体のPDCAを機能させていくことを説明した。

平成30年度における、経営発達支援事業評価は以下のとおり。

I. 経営発達支援事業の内容

① 地域経済動向の調査に関すること

取組内容1：地域の経済動向を把握するためにアンケート調査を様々な業種の12社の小規模事業者の業況等を調査した。

内 容	目標件数	実績件数
個社の経済動向調査	1 2 件	1 2 社
上記の調査結果の提供	1 回	0 回

検証結果：事業計画策定における外部環境の把握に活用できるため、次年度以降も調査を行い、より精度を向上させ、データを提供していきたいがHP開設による調査結果の提供ができていない為、早急に対応したい。

取組内容 2：地域外の経済動向調査の提供を北海道商工会連合会、遠軽信用金庫が提供する地域外の景況調査へ情報提供を行う。

内 容	目標件数	実績件数
外部経済動向調査の提供	4 件	0 件

検証結果：全 1 2 社の調査を行うことができ、経済動向調査を提供できる体制となったが当会のHPが未完成のため情報提供に至っていない。次年度にはHPに情報掲載を行い、域内の事業所の景気動向調査及び事業計画書作成に活用する。また、遠軽信用金庫にて ORIGAMI Pay を活用したキャッシュレス化を押し進めているため、その情報を活かした需要動向調査等を行いたい。

② 経営状況の分析に関すること

取組内容 1：ヒアリングシートを活用した定性面分析の実施を行い、自社の問題の「見える化」を行う。

内 容	目標件数	実績件数
定性面分析の実施件数	4 件	7 件

検証結果：感覚的にしか捉えていなかった自社の問題を発見することに繋がった。また、問題を見える化したことにより、事業者が何を改善すればよいか明確化でき、発展的な支援が可

能となっているため、今後は1件でも多く定性面分析を行いたい。

取組内容2：決算書から作成する財務分析シートによって、財務諸表を活用した定量面分析の実施を行う。

内 容	目標件数	実績件数
定量面分析の実施件数	4 件	7 件

検証結果：定性面分析と並列して分析を行った。経営相談の指標として活用することに繋がっているため、次年度以降も継続実施する。

取組内容3：専門家との連携によるセミナーの実施を行い、自社の財務・環境分析を行う。

内 容	目標件数	実績件数
専門家による経営分析セミナー	1 回	1 回

検証結果：事業者が、自社の問題点を見つめ直すきっかけとなり、経営力向上を目指す事業者が増加していると考え、今後は経営者のレベルに合わせた取組みを行いたい。

③ 事業計画策定支援に関すること

取組内容1：巡回訪問により事業計画書の必要性と有効性を説明し、事業計画策定対象者の掘り起こしを行った。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定企業掘り起こしのための巡回訪問回数	20 回	22 回

検証結果：成果として、新たに事業計画書の作成を行った事業所も数件あり、持続的な支援を進められる形となったため、今後も継続して取り組みたい。

取組内容 2：伴走型補助金を活用し、専門家を招聘。事業計画策定支援セミナーの開催を行う。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定セミナーの開催	1 回	1 回

検証結果：4名の若手経営者が参加し、自社の未来のあり方についての計画策定ができたが、より自社の経営状況や今後の事業計画を策定するためには個社に絞り個別対応をしていきたい。

取組内容 3：事業計画策定企業数として、本年度は持続化補助金で7件、金融支援で1件の経営計画策定を支援した。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定企業数	4 件	7 件

検証結果：9割の事業者が初めて事業計画を策定したため、自社の環境や状況について把握できた結果となった。今後、この事業計画を基により綿密な指導ができると考えており、次年度はより事業計画策定企業数を増加したい。

④ 事業計画策定後の支援に関すること

取組内容 1：事業計画を策定した事業者を定期的に訪問し、策定した計画が遂行できているのかの伴走型支援を行った。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定後の巡回訪問回数	1 8 回	5 1 回

検証結果：計画策定の段階で国の補助金を活用できる事業者が多く、設備投資等の費用負担を軽減することができた。今後は1社あたりの巡回訪問数は変動せず、企業数を増加したい。

取組内容 2：事業計画策定後のフォローアップ企業数については目標を上回る形で 8 件の事業者のフォローアップを行った。

内 容	目標件数	実績件数
事業計画策定後のフォローアップ企業数	4 件	8 件

検証結果：取組内容 1 と同様

⑤ 需要動向調査に関すること

取組内容 1：既存商品におけるマーケティング調査の実施を行うため、食品製造業者 3 件に札幌・東京のアンテナショップである「どさんこプラザ」でテスト販売の提案をした。

内 容	目標件数	実績件数
マーケティング調査の支援企業数	2 件	0 件

検証結果：テスト販売の必要性が無いとの回答であったため断念したが、興味のある事業者が増えたため、次年度以降にも提案を行いたい。また、(株)管野組ではどさんこプラザにじゅんさいを卸しているため、出店予定者が現れればアドバイスを頂き支援していきたい。

取組内容 2：当町で実施しているアスパラフェアを対象に、町内外のお客様に 10 項目のアンケート調査を行い商品開発・改良支援を実施。

目標：3 件 実績：4 件

内 容	目標件数	実績件数
飲食店を対象としたアンケート調査の支援企業数	3 件	4 件

検証結果：アスパラフェアに不参加の店舗の誘致の必要性があった。次年度は参加店の増加に努めたい。また、特産品を活用したアンケート調査と同様に遠軽町では特産品開発の支援制度もあるため、調査のみではなく、補助金活用の案内も同様に公表し、事業所支援の充実を図りたい。

取組内容 3：建設業の顧客層である遠軽町在住の町民 488 名にアンケート調査を実施し、需要動向調査を行った。

内 容	目標件数	実績件数
建設業対象のアンケート調査支援企業数	17 件	17 件

検証結果：需要のあるリフォーム箇所や潜在顧客、地域のマーケットニーズを把握し、建設企業 17 社へ情報の提供ができた。今後、地域経済の動向も変化する可能性があるため、次年度以降はアンケートは行わず、別の形で情報の提供を図りたい。

取組内容 4：日経テレコンを利用し、今売れている食料品などのヒット商品の情報提供を実施した。

内 容	目標件数	実績件数
地域外のトレンド商品の情報提供	2 件	1 件

検証結果：日経テレコンを活用し地域外のトレンド商品などの情報を各事業所へ継続し提供していきたい。

⑥ 新たな需要の開拓に資する支援に関すること

取組内容 1：食品製造業者に札幌で開催された“北の味覚再発見”、“北の味覚めぐり”への出展支援を行った。

内 容	目標件数	実績件数
商談会出展支援企業数	2 件	2 件

検証結果：新たな販路開拓先やバイヤーとの接点を持つことができ、将来的な売上に貢献できたことや、自社商品の価値を再認識し、ブラッシュアップする機会を得られたため、次年度は生田原地区で出店したいと考える事業者 2 社も対象に、支援していきたい。

取組内容 2 : 商談会に出店した事業者がバイヤー等と接点を持ち、新たな販路開拓となるよう、現場支援を行った。

内 容	目標件数	実績件数
商談会参加企業の成立件数	4 件以上	1 件

検証結果 : 成立件数としては 1 社であるが、全道のトドックでの販売が確定。また、もう 1 社も成立見込みとなり、年間取引が 1,000 万円を上回る大口取引が見込めている。その為次年度でも現場支援を行い、事業者が積極的に自社商品を売り込める環境を整えたい。

取組内容 3 : S H I F T ・ H P 等の新規開設を支援した。

内 容	目標件数	実績件数
H P の新規開設件数	1 2 件	2 件

検証結果 : 現在は H P 作成まで至っていないため、次年度には完成させ、目標件数に近い件数を達成したい。しかしながら H P の開設は非常にハードルが高いため違う形での支援の必要性がある。

取組内容 4 : H P の開設とニッポンセレクトによるネット販売の掲載支援を実施した。

内 容	目標件数	実績件数
H P でのネット販売による売上目標	1 % 以上の売上増加	なし

検証結果 : 買い物カゴ付きの H P の開設を行えなかったため、積極的な P R と製造販売をしている事業者にはニッポンセレクトの P R をさらに推進していきたい。

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組み

取組内容 1 : 各地区へのイベント協力を行い、新商品のPR機会としてイベント活用推進を実施した。

内 容	目標件数	実績件数
年間イベントでの集客数	14,000名	15,000名

検証結果 : 青年部で開発した新商品のご当地ピザをピザ作り教室として実施し、商品及び開発協力いただいた店舗のPRを行えた。次年度では、より来客数の増加する取り組みを各機関と連携し行いたい。また、集客数増加に寄与する取り組みとして年間イベントカレンダーの作成を行うPR方法を考えても良いのではとの意見があったため参考にしたい。

取組内容 2 : 町内外の新規顧客獲得に向け、遠軽町の特産品であるアスパラを活用したフェアへの参加を各店舗に呼びかけた。

内 容	目標件数	実績件数
特産品を活用したフェアへの参加企業数	21店舗	20店舗

検証結果 : 巡回活動を視野に入れ、より参加店舗増加活動に力を入れたい。遠軽町では特産品の支援制度があるため、利点を説明し活動を行う。また、各連携機関と一丸になり冬場に新道の駅等を活用した事業を考えてみてよいかと考える。

取組内容 3 : アスパラフェア及び愛食フェア実施における地域課題について「えんがる産業振興協議会」を開催し協議を行った。

内 容	目標件数	実績件数
えんがる産業振興協議会の開催	1件	1件

検証結果：町内外の消費者や観光客がアスパラをどのように食べたいかなどのニーズ、改善点を洗い出せた。次年度はその改善点を実行できるよう、より具体的な形にしたい。

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

① 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事

取組内容 1：遠軽地区商工会連絡協議会開催に向け、本年度は当会が発達支援計画に認定されたこともあり、参加承諾となる。また、その総会が行われた。

内 容	目標件数	実績件数
遠軽地区商工会連絡協議会等の開催	1 件	1 件

検証結果：参加承諾となったものの、今後どのような形で協議会を開催すれば事業者の支援になるか検討課題となっている。次年度にも課題解決のため、事務局レベルでの連絡協議会を開催したいと考えている。

取組内容 2：他の支援機関や専門機関との情報交換のため、各職種で開催された研修会や専門家派遣時に支援の手法の着眼点などの情報交換や問題解決の手法を学んだ。

内 容	目標件数	実績件数
各専門家の支援手法等の習得及び情報交換	4 回以上	8 回

検証結果：取組内容のとおり研修会等への参加により新たな支援ノウハウや考え方、様々な支援技術を習得する効果があったため、継続していきたい。

② 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容 1：商工会連合会などが実施する職種別研修会に参加し、支援能力の向上を図る。

内 容	目標件数	実績件数
職種別研修会への参加による職員の支援能力向上	なし	5 件

検証結果：研修会参加により能力向上が図れた。今後はより発展的な支援に取り組むため、段階的にレベルを引き上げていきたい。

取組内容 2：専門家派遣を実施した際に経営指導員が帯同し企業支援方法を学んだ。

内 容	目標件数	実績件数
専門家派遣による経営指導員の企業支援方法の習得	なし	2 件

検証結果：専門家として事業者へどのような助言を行っているか、企業支援の際にどのように問題点を聞き出すかなど、より高度な専門知識を学ぶことができたため、継続していきたい。

取組内容 3：補助員・記帳専任職員に対し指導・助言能力を高めるため O J T を実施。

内 容	目標件数	実績件数
職員能力向上のための O J T 実施回数	なし	4 件

検証結果：能力向上により、今後も会員の相談業務を効率的にサポートしたい。

③ 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

取組内容 1 : 4 半期に 1 度、事務局内部で支援計画の進捗状況についての報告と内部検証を実施。

内 容	目標件数	実績件数
事務局内部での発達支援計画の進捗状況検証回数	4 回	4 回

検証結果：情報の共有や進捗速度が遅いものなどの確認、事務局体制による業務の振り分けを行うことにより、スムーズな事業進行ができたため次年度も同様に行う。

取組内容 2 : 外部有識者を交えた検証

内 容	目標件数	実績件数
外部有識者を交えた発達支援計画の検証回数	1 回	1 回

検証結果：外部有識者を交えることにより、支援計画を多角的に評価でき、次年度事業への改善点を見定めることができたため、来年度も開催する。

取組内容 3 : 商工会理事会にて進捗内容及び今後の事業展開について報告を行う。

内 容	目標件数	実績件数
商工会理事会での事業展開の報告	3 回	3 回

検証結果：発達支援計画の進捗状況を確認することで計画の見直しや計画実行性を高めることができたため、次年度も同様に行いたい。

取組内容 4：事業結果の公表については、支援計画初年度のため
総会で支援計画の概要と推進事業の説明を行った。

内 容	目標件数	実績件数
発達支援事業計画の会員への公表	なし	1回

検証結果：総会にて商工会会員に発達支援計画の有効性と活用事業者の掘り起こしを説明したことにより、スムーズな計画実行を行えたため、次年度も公表する。また、支援計画の報告会を次年度からは各地区にて開催する。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

- ・発達支援事業で携わった企業名を公表し内容を検証してみてはどうか。公表した方が狭い地域なので会員事業者に内容が伝わりやすく、実態に合うアドバイスが出来るのではないかと。

→企業の数字等が記載される部分では公開しないが、その他でどの企業が何を行ったかは記載できるよう検討したい。

- ・本年度、小規模持続化補助金やものづくり補助金の概算払いが終わるまでの間に、その会員さんに融資を行わせていただいた。保証協会付きで利率が低いため是非活用していただきたい。

→会員への周知を行いたいと考えます。

上記の通り、各有識者から評価及び要望等を挙げていただき協議し、評価委員会を16時30分に閉会した。